

スズキ労連 組織内候補(予定)者 擁立決定!

田口 章 (たぐち あきら) **静岡県議会へ!**
徳光卓也 (とくみつたくや) **浜松市議会へ!**

スズキ労連は、2010年10月21日(木)の第2回中央執行委員会の中で、来年4月に行われる2011年統一地方選挙に向けて、組織内候補(予定)者として、田口 章を静岡県議会、徳光卓也を浜松市議会に候補予定者として擁立することを決定いたしました。

田口章は、私たち働く者の声を今まで以上に広く伝えるべく市議会から県議会へのチャレンジとなります。

徳光卓也は、田口候補の跡を継ぎ浜松市政に私たちの声を届けるべく新人として頑張ります。

両候補予定者とも、浜松市西区の選挙区での戦いとなります。

私たち働く者の代表として擁立した両候補への、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。



徳光卓也 (とくみつたくや) つてどんな人

みなさんの声が
市政に届くよう、
その橋渡しを努めたいと
思っています。
気軽に声をかけて
ください。

Profile(経歴)

昭和35年 4月17日生まれ 50歳
昭和58年 芝浦工業大学 工学部卒業
鈴木自動車工業(株)
(現 スズキ(株)入社
原価管理部
平成 3年 人事部
平成 6年 (株)スズキ自販神奈川
平成 9年 人事部
平成17年 東京支店

田口 章 (たぐちあきら) から一言!

浜松市から**静岡県**へ!
田口章はみなさんに、
よりお役に立てるよう、
決心しました。
徳光卓也共々を
よろしくお願いします。



[スズキ労連] 機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20 TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838 e-mail: kosugi@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連活動状況(労連ブログ)・スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙 共通パスワード… saw2007



2010年11月 第344号

スズキ労連

2010年
11月号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079
スズキ関連労働組合連合会

発行人 加藤幸博
編集人 小杉 尚

2010年労働諸条件改善の取り組み スズキ労連方針決定する!

スズキ労連は9月24日(金)第1回中央執行委員会とその後併催された部品製造輸送部会・販売部会において議論を重ね、10月21日(木)第2回中央執行委員会にてスズキ労連「2010年労働諸条件改善の取り組み方針」と部品製造・輸送部門、販売部門ごとの取り組み方針を確認・決定いたしました。

これを受け、各加盟労組は労連方針に基づき、各部門方針に合わせた形で、独自の取り組み方針を決定し、要求・要望書を会社に提出、年内の回答引き出しに向け交渉を行ないます。

取り巻く情勢が厳しさを増す中で、グループ全体の活性化に繋がる労働条件の改善に向け、全員参加の取り組みを進めていきたいと思います。

《スズキ労連 2010年労働諸条件改善の取り組み方針》

自動車総連の「労働諸条件・基本プラン」に沿って、ミニマム基準未達一掃に向けた取り組みを展開する。各組合は要求書または要望書を提出し、小委員会等の形式で取り組みを進める。

◎基本プラン

1)60歳以降の就労確保に向けた取り組みについて(通年取り組み含む)

- スズキ労連の統一取り組み項目として、公的年金が支給される年齢まで安心して生活できるための職場づくりに向けて取り組む。
- 各組合は、労使委員会など労使で協議する場を2010年末までに設置していく。
- 60歳以降の雇用継続制度について、就業規則で対応している組合は、2010年度末までに労使協定を締結していく。
- 60歳以降の雇用継続制度について、各組合は協定の運用について確認し課題について労使協議を実施する。

2)労働災害・通勤災害特別補償 遺族特別補償について

スズキ労連の統一取り組み項目として、安全衛生に対する意識を一層向上させるとともに、万一の場合の経済的な補償の充実を図るために、労働災害・通勤災害特別補償額の引き上げに向けて取り組む。

◎基本プラン以外

1)労働協約・労使協定の締結・見直しを実施

- スズキ労連の統一取り組み項目として、協約・協定の再点検を実施する。
- 各単組は締結の実態を確認し、必要性に応じ、確実に更新、締結していく。
- 新加盟組合は、「早急に協約・協定を整備する」事に取り組む。
- 労連事務局を中心に標準化を図る。

2)労働時間短縮に向けた諸施策の展開、スタート12に基づく取り組みの実施

- スズキ労連の統一取り組み項目として、総労働時間短縮について取り組む。各単組はゆとりある豊かな生活の実現、また、健康管理、コンプライアンスの観点からも総労働時間短縮に向け取り組む。
- 所定1952h未達組合は達成に向けて労使で協議する。
- 有給休暇の取得増に向け取り組む。
- 所定外労働時間削減に向け取り組む。

3)育児・介護休業法改正への対応

- コンプライアンスの観点から法改正対応の点検を実施する。
- 各組合は、法改正内容を踏まえた取り組みを推進していく上で、チェックリストを活用し対応方法に問題が無いことを確認する。
- 適用猶予対象組合は、対応方法について労使で協議する。

4)時間管理に関する確認(通年取り組み含む)

時間管理の適正化について取り組む。

5)職場環境の改善・福利厚生の充実に向けて、各組合は積極的に取り組む。

《スズキ労連取り組み日程》

<要求書・要望書提出> 11月上旬～11月中旬
<取り組み時期> 11月上旬～12月末
<回答引き出し> 12月末

「部品製造・輸送部門」「販売部門」 部門別方針決定!

スズキ労連では昨年に引き続き、部門別に方針を打ち立てて、労働諸条件改善に取り組みます。車体製造・輸送部会、販売部会を開催し、部門ごとの課題について共通項を整理したうえで方針を策定いたしました。

スズキ労連 2010年労働諸条件改善取り組み方針（統一方針・表面参照）

統一方針に基づき部門別で方針を協議

《部品製造・輸送部門 取り組み方針特徴点》

- 労働時間短縮に向けた諸施策の展開、START12に基づく取り組みの実施
 - ・半日有給休暇取得上限回数の見直しに取り組む。

《販売部門 取り組み方針特徴点》

- 年間カレンダーについて
 - ・年間カレンダー策定については労使協議のうえ、決定する。
 - ・三大連休（年末年始、GW、夏期）を含む年間休日完全に取得できる環境づくりの観点から休日

設定について労使で十分な議論を行なう。

- 労働協約・労使協定の締結・見直しの実施
 - ・新加盟組合は、「早急に協約・協定を整備する」事に取り組む
- 労働時間短縮に向けた諸施策の展開
 - ・有給休暇の取得に向け、計画有給取得制度化に向けた環境整備
 - ・所定外労働時間（残業）の削減
 - ・勤務管理ルールの徹底
 - ・ノー残業デーの実施、継続、増設、運用充実

スズキ労連方針・部門別方針を踏まえて、各単組にて方針決定 ⇒ 要求・要望書提出

秋の取り組みって何？

皆さん、春闘という言葉は耳にされたことがあるかと思います。春闘はご承知の通り、主に、賃金・一時金について会社に要求し交渉する取り組みです。新年度の昇給に盛り込むため、主に2月から3月に行います。いわゆる春の取り組みです。

これに対し、働き方や職場環境など賃金・一時金以外の労働条件について会社に要求・要望し交渉するのが労働諸条件改善の取り組みであり、秋にその交渉を行なうことから秋の取り組みと呼ばれています。

「何故、春闘とは別に交渉するか？」ということですが、賃金交渉時にその他の労働条件交渉を行なうと交渉の最終局面で賃金・労働条件どちらかの取り合いなることを避けるためや労働協約改定（年初1月に更新する場合は多い）に労働条件改善内容を盛り込むなどの理由から春闘とは別に秋に取り組みを行ないます。

取り組み方針解説

【60歳以降の就労確保について】

●高齢者雇用安定法

2006年4月に改正施行された「高齢者雇用安定法」では、事業主は定年の引き上げや継続雇用制度の導入などにより高齢者に対し雇用を確保することが義務付けられました。2013年4月以降は雇用を確保しなければならない年齢が65歳まで引き上げられます。

また、雇用継続制度導入に際して、労使協議が調わなかった場合に会社側が就業規則等で希望者全員を対象としない条件を設定できる特例措置の期限が、2011年3月31日をもって終了します。

●公的年金支給開始年齢

現在の公的年金の仕組みは、老齢基礎年金（昔でいう国民年金）と老齢厚生年金（昔でいう厚生年金）の2階建ての構造になっており、いずれも特別支給が加算され支給されています。2013年4月2日以降に60歳になられる男性（女性は2018年）は、老齢基礎年金の特別支給部分（定額部分）が無くなります。

【“START12”について】

“START12”とは他の産別組合と比較しても長時間となっている労働時間の短縮に向けた自動車総連内の取り組みです。自動車産業で働く人の仕事と家庭・地域生活とのバランス（ワーク・ライフ・バランス）を確保すると同時に産業の魅力を高めていく目的のために取り組んでいます。総労働時間を短縮するには、3つの要素「所定労働時間の短縮」、「時間外労働時間の削減」、「有給休暇取得向上」に対して取り組みを行う方法があり、社会情勢・会社状況など様々な状況を検討して取り組みを行なうことが大切です。

Q. 何で部門方針をたてるの？

A. 部門固有の課題を明確に打ち出すことで、各労組の要求・要望書に具体性を持たせ、労連との共闘をアピールすることができます。

2010自動車総連福祉カンパ

精神障害者地域支援センター「うたしあ」にエブリイワゴンを寄贈



9月1日（水）、スズキ労働組合相良支部からの紹介で、島田市にある地域活動支援センター「うたしあ」にエブリイワゴンを寄贈いたしました。寄贈式ではスズキ労連事務局長、スズキ労組相良支部長から目録とゴールドデンキーが施設関係者に渡されました。同センターの施設長さんからは「夢のようで大変うれしい、今後の活動に活用していきたい」と御礼の言葉をいただきました。

知的障害者通所授産施設「旭川福祉園」に、エブリイを寄贈



9月27日（月）、エブリイJOINターボを「旭川福祉園」に寄贈いたしました。寄贈式には、施設関係者、同施設を紹介いただいたスズキ販売労働組合旭川スズキ支部執行委員長、スズキ労連会長、車両を手配いただいた旭川スズキ社長が集う中、スズキ労連としては北海道では初めてとなる車両寄贈となりました。同施設長は「北海道で初めて車両をいただき光栄に思います。末長く大切に使用させていただきます」と感謝の言葉をいただきました。

精神障害者地域支援センター「E-JAN」に、ワゴンRを寄贈



9月17日（金）、施設関係、スズキ労連事務局、施設紹介者の田口顧問、車両を手配していただいたスズキ自販浜松関係者が集う中、「E-JAN」敷地内で寄贈式が執り行われました。この「E-JAN」は、心の病を抱える人たちへ訪問支援をおこなっており、施設代表理事は「支援する方へのサービス向上につながり、大変有難い」と御礼の言葉をいただきました。

心身障害者地域作業所「サチラス」に、ワゴンRを寄贈



10月6日（水）、スズキ販売労働組合湘南支部からの紹介により、神奈川県平塚市にある地域作業所「サチラス」にワゴンR FXを寄贈いたしました。寄贈式には施設関係者、スズキ販売労働組合執行部、スズキ労連事務局、車両を手配していただいたスズキ自販湘南関係者が集う中、「サチラス」敷地内で寄贈式が執り行われました。同作業所の所長さんからは「初めて新車を寄贈していただき感激しています。作業所で作った商品の運搬・施設作業者の送迎やレクリエーションなど、大事に使わせていただきます」と感謝の言葉をいただきました。

車両寄贈に関する費用は、7月に皆さんにご協力いただいた「自動車総連福祉カンパ」のカンパ金から拠出されております。組合員一人ひとりの「気持ち」の代弁者として、今後もスズキ労連は小規模の社会福祉施設への車両寄贈を中心に福祉活動を行い、社会貢献に努めて参ります。ご協力、誠にありがとうございました。



特定非営利活動法人(NPO法人)

交通遺児等を支援する会

第7回チャリティーバザー
衣服・陶器・玩具等1519点もの
物品提供をいただきました。

ご協力ありがとうございました!!

8月からお願いしていた「交通遺児等を支援する会」第7回チャリティーバザーへの物品提供に多くの方にご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。バザーは10月31日（日）、エステック情報ビル「エステックひろば」にて開催され、売上金が病気などにより経済的負担を強いられている母と子に対する「緊急一時貸付」・「越年助成金」として使われます。